



三月四日 夕刊

障害は争への事實

堀るか堀らぬかは 市會も結局反對に決せん

後を構ふこまはぬの一途

平市南東の地下採掘に對する青沼市長の諮問答申案は既報の如く同市が唯一無二の發展區域として地上の將來に大なる障害あるを幾多の實例を上げて町制當時から確固不動な反對を説かれて居り此の決定を豫算市會の續成最終に附議されることになつてあるが右に對する議否の二流は今や會の委員による慎重審議の如きも既に深く調査を経てある地上の障害を認めずとなす様な曲説は唱ひ難く簡單に云へば障害があるから堀らせぬと云ふのと障害があつても掘らせるとする二つに止まらざるを得ず論じ詰められた市會の結果も飾りなき一般市民の聲に背く様なことな

石城産馬組合 新豫算の打合

石城産馬組合では明後六日午前十時から平市團休事務所左記區長(副組合長)を招集し十五年度豫算編成につき打合せをなすが前年の豫算は一般會計九千七百五十九圓、特別會計(御食費、奨励費その他)四千四百八十一圓計一萬四千二百四十圓であつた

▲第一區長樋口幸右(工門)入
▲第二區長佐藤清司(澤野)
▲第三區長草野政壽(上小川)
▲第四區長矢内半藏(川前)

大陸進出

廿一名の就職先
平商業學校に於ける本年度の卒業生は九十二名で何れも就職先を決定し來る十二日の集立つその日を待たれてゐるが其のうちの左記二十一名は時局柄に喜ばしい大陸に活躍することになつてゐる

▲滿洲中央銀行佐川尚平 日
▲滿洲中央銀行吉田圭三 日
▲滿洲消費組合鈴木誠之 根
▲本部長 國際運輸齊藤紫光
▲滿鐵佐藤常雄 小齊新平
▲木村保治 華北交通田村十
▲二郎 大同炭鐵中野昌訓
▲滿洲炭鐵永山義男 鎌倉忠
▲治 滿洲必備品配給草野政
▲一 滿洲鐵業開發中野新樹
▲滿洲飛行機製造大平勝 坂
▲本向平 昭和製鋼所嶋原誠
▲滿洲化學田中賢治 滿洲電
▲業金賀賀次郎 木村守信

春の旅客の輻輳に 常磐線に臨時列車

上野青森間(常磐經由)一往復 及び上野仙台間に一往復

鐵道では春の旅客の輻輳に備へて臨時列車の運轉常磐線經由上野、仙台間(今三月二十三日より四月十五日まで及び四月二十七日より同月三十日まで)並びに上野、青森間(四月一日より五月三十一日まで)(二往復を動かすことになつ

▲上野、青森間(急行一二〇)
○一列車)上野發午後六時五十分、平發同十時八分、仙台發午前零時三十分、盛岡發同三時五十七分、青森發同七時二十八分、青森上野間(急行一二〇)

支那軍語

哈達門ですと云ふなら是哈達門でシハハタマン、君はつかれたか(くたされたか)はニフアラマ、僕はまだ疲れてはゐないと答へる場合は我選不之と云ふオハイブフアと云ふ

陸相から表彰 軍事功勞者

石城では吉田校長
二千六百年の祝元の佳節に當り昭和十四年度に於ける陸軍軍事功勞者として陸軍大臣の表彰を受けたものは地方官民五十名、郷軍關係九十二名、同團休三分會に選出本縣下では伊達郡伏黒村郷軍分會、同郡東湯野村退後陸軍歩兵中尉從七位鈴木元七氏及び石城郡好間村田六〇(好間高等學校長)從七位勲七等吉田庄太郎氏があり來る十日の陸軍記念日をトシ表彰状その他を授與されることになつた

火元の渡邊氏 見舞金三千圓

類焼せる四戸に
石城郡大浦村の上仁井田味哈醬油醸造業渡邊金治氏方から火災したる二十九日未明の渡邊氏は右に對して去る二日三千圓の見舞金のほか一戸に白米一俵、味噌五貫匁、醬油九升つゝを贈つたので罹災者は渡邊氏に感謝してゐる

鮫川魚權認可

向ふ十ヶ年間
石城郡鮫川の漁業組合が鮫川の鮭、鮎漁業權は期間満了の續續を出願されてゐたが今後更に昭和二十五年二月十六日まで十ヶ年間毎八年八月一日より十二月三十一日に至る定置漁業が許された

植田町の新豫算

石城郡植田町では新豫算の町増加した

豫備士官學校の分遣を命ぜらる

平市四丁目出身 佐藤遠平
拜啓、ボブラの葉も落ち寒風身に沁みる時候となつて参りました、皆々様には益々御元氣にて銃後國民の指導に御骨折のこと誠に感謝感激の外はございません、小生達が皇軍の一員として心おきな軍務に精勵出來ますのも偏に皆々様の御盡力の賜と一併して申して居ります、此度は慰問品やら御手紙やら職友と共に有難く頂戴致しました、厚く御禮申

御期待に副ふ覺悟

平市銀治町出身 牛久富夫
拜啓、晩秋の候會愈々御盛業奉賀上候、小兵出征の際は萬端御高配に預り厚く御禮申上候、且また今回は多大の御慰問品並に御丁寧なる御慰問文を賜はり有難く職友と共に賞味致候、銃後皆々様の熱誠溢る御支援の段感激の至り不堪候、不省謙忠報國の誠を致し必ず御期待に副へたき念願に御座候、先は右御禮申上度如斯に御座候、

盗帳の二千圓 一步前で逮捕

豊間の土蔵破り
石城郡豊間村の柳町橋本正一郎方に於て去る二月八日夜土蔵内に賊忍び入り筆筒の中に置いた二千圓記入の郵便貯金

小名濱町會

小名濱町では十五年度豫算その他に關する町會を來る十五日午前十時から招集する

簡保集金横領

石城郡植田郵便局簡保集金人星春吉(七)と同簡保係石井兼藏(三)にかゝる業務上の横領は植田署の取調への上送局されたが星は一昨十三年暮れから本年一月までに植田、錦、山田一町二ヶ村被保險者三百四名の掛金二千四百圓を遊興に費消した様か昨年十一月錦村の中畑重雄さんから頼まれた郵便貯金十五圓を横領し尙ほ平市鎌田遊廓住吉樓娼妓篠原いんさんの貯金通帳を預り印章を偽造して拂戻しをなし石井は星と共に謀横領した金で共に遊興かつ前後八回に星から百二十三圓を借りてゐる

郷友會の見舞

平市の大浦郷友會では去る二十九日朝の同村渡邊金治氏方から發火した火災に對し代表者が罹災者を慰問し金一封の見舞金を贈つた

未忍るべき 少年のスリ

ポケットから五拾圓
石城郡湯本町の向田居住七太郎の伴若枝茂吉(〇)何れも假名は日頃小供に似合はぬ大金を所持してゐるので平署の取調への結果向人は礼付の不良で學校を欠席し去る一月廿日過ぎる或る日午後一時頃湯本驛待合室で氏名不詳の男が乗車券を買つて居る隙をねらひ洋服のポケットから現金五拾圓を盗むと同時印鑑を偽造し小名濱郵便局で現在高の證明を受け斯る手段を變へてまんまと拂戻し其の金で満洲方面へ高飛びの計畫であつた

採炭夫落聲即死

石城郡赤井村の高萩日曹礦炭採炭夫矢吹勇(三)は去る二日午後十一時五分頃同坑内で作業中落聲に遭つて即死す

文魁堂 電話三三三番

高島屋洋服店 電話三三六番

産業方面

羊毛代用の 蘭増産(上)

農林省では国内繊維事情の窮乏に鑑み新年度に於て新用途即ち羊毛代用蘭三十五萬貫(春盤十萬貫、夏秋盤二十五萬貫)の生産目標を樹立しその増産に力を入れたこととなつた、新用途蘭は十四年度に二十五萬貫の生産を目ざしたのであるがその実績は僅かに十一萬貫に過ぎなかつたので今回はこの蘭の特殊性を強調の桑葉の合理的利用、新品種の配布その他次の諸方策を決定し督勵に當る筈である

新用途蘭は前年には大休貫當り五圓三十錢平均に賣れてをり、それは補助金として實當り一圓七十錢を交付されてゐるので飼育管理の簡易、勞力、桑葉料金の低廉を考慮に入れると普通蘭に比較し必ずしも採算上不利でないことを物語つてゐる、

新用途蘭生産處理施設の大綱、

△生産計畫は普通蘭の生産に形勢を及ぼさざる範圍で養蚕實行組合の實施計畫を基礎として樹立する、

△養蚕實行組合は次のやうな點を考慮して計畫を樹立する、

(1) 蘭作(普通蘭)不安定または飼育不良のとき(2) 蘭の販賣困難なるかまたは販賣の秋蚕、初冬蚕の如く從來養蚕の飼育をしてゐない時期(3) 普通蘭と新用途蘭の混種樹立時期の調節のため(4) 余剰桑葉の硬化若く

は汚染桑葉、殘桑または廢桑の利用、

「貯蓄は無盡で」

三存園

無盡城

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社印刷部

助産・氣管支・關節・神経痛・肺炎・ロイマチス

新・生公華

山野邊藥局

大小の御宴會にホテル
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

電話 買ひます
電話 賣ります

時局下の女性

第三十六回生徒募集

平南町 産婆看護婦學校へ
平 看護婦學校
校長 清野キヨ

治淋 新藥 號七〇六

内科、花柳病科、外科、耳鼻咽喉科、小兒科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

専門 皮膚泌尿器科 性病科

院醫尻江

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九二番

良品廉價

高久商店

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平市南町 電二五八番

カバンと洋品類

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

御婚禮着付 和洋結髪

手塚美容院

平市新田町

診療科目

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義